

講義名	キャリア基礎論			授業形態	
担当教員	後藤 奈々子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

受講生は変化する日本の労働市場において、多様化する大学生の進路について学び、その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていく。就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を磨り上げていくことを目的とする。

到達目標

- 日本の労働市場を知ることによって大学生の就職環境について説明することができるようになる
- 業界や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、自分の希望する仕事の絞り込みができるようになる
- 社会が求める人材像や能力を知ることによって将来のキャリアに向けて学生時代の目標設定ができ、その達成までのロードマップを策定し、充実した学生生活を送ることができるようになる

提出課題

- 毎回の授業に関連したミニレポート
- 課題レポート
- 基礎能力小テスト
- 最終レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業に関連したミニレポートについては、次の授業の冒頭でフィードバックを行う。課題レポートや小テストについては、提出した次の授業で全体講評および傾向のフィードバックを行う。

評価の基準

- 毎回の授業に関連したミニレポート（45点）
 - 課題レポート（10点）
 - 基礎能力小テスト（10点）
 - 最終レポート（35点）
- 15回の授業のうち、3分の1（5回）を超える欠席者は評価対象外とします。ご注意ください。
最終レポートの提出は必須です。必ず提出してください。

履修にあたっての注意・助言他

- この授業は、いずれ社会に出ていくための練習の場です。社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る・私語を慎む等）を守って出席してください。
- 授業内ではペアワークやグループワークを実施します。一定の自己開示と、自分も他者も尊重する態度との両方を心がけてください。
- 就職活動が本格化してから焦ることがないように、意識的に日ごろから新聞等で社会情勢についての情報に関心を持ってください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業で使用する資料は適宜配布し、参考文献は授業内で紹介します。

授業計画

1. オリエンテーション 授業概要と動機づけ
2. 大学での学びとキャリアデザイン
3. “働く”ってどういうこと？
4. 働き方研究 多様なワークスタイルの種類
5. 働き方研究 社会人のキャリアパス
6. 働き方研究 ワークライフバランスって？
7. 仕事研究 世の中の仕事の種類
8. 仕事研究 各職種の特性と必要なスキル
9. 仕事研究 各職種の面白さと大変さ
10. 社会人のコミュニケーション 電話・メール対応
11. 社会人のコミュニケーション アサーショントレーニング
12. 社会で求められる基礎能力 適性検査の概要
13. 社会で求められる基礎能力 能力検査の傾向
14. 就職活動に向けて 準備と心構え
15. まとめ 最終レポートの完成

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

1. 日ごろから、「キャリア」「就職」「労働」「雇用」「ビジネス」などといったキーワードに注目し、意識的に本・新聞・雑誌等でニュースや情報をチェックする習慣をつける（毎回1時間）
2. 授業内で紹介した参考文献や参考資料に目を通し、自身の考えや意見をまとめる（毎回30分）
3. 授業で学んだこと（業界地図の見方・コミュニケーション術・基礎能力試験対策等）を復習し、自ら実践する（毎回30分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていくことを主眼とした授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適正と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行う」というキャリア科目の旨と合致していると考えます。また、知識やスキルを自分のものに落とし込むことに重点を置いた授業であり、「知識を知恵に変換することができる、論理的思考力を持った人材」という本学のBPと合致していると考えます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回、授業冒頭でミニレポートや課題レポートのフィードバックを実施し、必要に応じて解説や回答を行う。また、授業内で適宜Responを使用した説明やアンケートを実施し、リアルタイムで意見の交換を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
キャリアコンサルタントとして、大学生の就職支援や企業・自治体職員キャリア相談員およびキャリア研修講師に従事。葛藤に寄り添い、社会や他者・自身と向き合うスキルやマインドについて、専門的な見解からお伝えします。

備考

この授業は「対面型」で実施します。新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者、または濃厚接触者に指定され一時的に通学が困難となった学生には、別途個別に相談しながら対応していきます。また、状況によって、シラバスを一部変更する可能性があります。